

# 中村設計新聞

## 第一号

3月21日(土)晴れ  
昨年京阪中之島線が開業し、今何かと話題の中之島界隈へ建物見学に行きました。  
大正時代のレトロな建物に触れてきました。

新しい建物が建ち並び大阪。しかしながら登録有形文化財の数が全国第1位の街でもあります。  
その中でも「大阪まちあるき」に力を入れている中之島界隈の登録有形文化財を巡る見学に行きました。

見学コース

- 北浜レトロビルディング
- 大阪倶楽部
- 大阪ガスビル

### 北浜レトロビルディング

明治45年に建てられたというレンガ造りの洋館。高層ビルの間にも建っていても堂々と誇り高く存在感を感じました。

飲食店への転用に触れる



イギリス製のアンティーク家具で統一された店内。土佐堀川に面した窓からは中之島公園のバラ園を眺めることができる。

営業時間：平日 11:00~21:30  
土日祝 11:00~19:00  
年中無休(お盆・年末年始は除く)

古き良き建物を元の姿のまま後世へ残し、尚かつ、飲食店として上手く活用し多くの人々に利用されている。建物としては何よりも幸せな生き方だと感じました。オーナーの誇り高きこだわりにも触れ、私もこの先長く人々に愛される建物に携わっていきたく思いました。

レポート・伊藤 由美子

### 大阪倶楽部

独自の表現に溢れる  
紳士が集う宮殿

大正3年に創建された英国城館風の大阪倶楽部旧館は、同倶楽部の主唱者であった住友家を代表して又、総理事鈴木馬左也がその評議員ということもあり、住友本社管理建築係が設計を引き受けた。野口孫市と長谷部鋭吉が主となりまとめた。  
しかしながら、大正11年に失火のため焼失してしまい、現在では写真でしかその姿を偲ぶことができない。  
大正13年に現在の建物が再建。現会館は安井武雄により設計された地上4階・地下1階建てで、南欧風の様式に東洋風の手法を加味した新館である。

大阪大空襲で大阪市の3分の1が焼けの野原となるが、幸いなことに爆弾の直撃を免れ、窓に設けた鉄製のシャッターにより延焼被害を受けることなく建設時の姿を保つことができた。

館内はゆったりとした雰囲気、会員相互及び同伴者との交遊や会食、同好会活動に利用されている。ちなみに大阪倶楽部の会員は男性限定である。館内にはゴルフ場、レストラン、図書室、囲碁・将棋室、ビリヤード、理髪店までが完備されている。4階ホールと3階各室は会員による倶楽部活動だけでなく、貸会場として各種の演奏会、結婚式、株主総会などに広く利用されている。

内装は部屋ごとに異なる梁と「持ち送り」の装飾模様が異彩を放ち、玄関ホールは壁面には国会議事堂

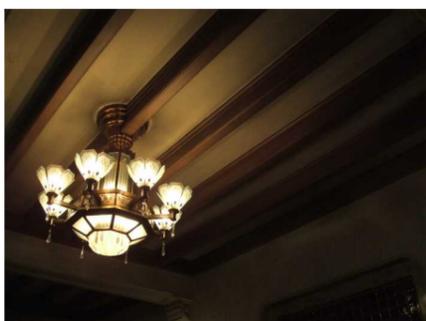


2階から3階踊り場のステンドグラス前には、結婚式を挙げるカッパルのお決まり記念撮影場所。

2階廊下壁面と同じ千歳石が使用されている。白の大理石を始め、革張りのソファなど什器備品も当時最高級のもので海外から調達された。

今回の見学で富を象徴するために襦を置くことを初めて知りました。部屋ごとに異なる梁は現在漆喰塗りで白一色だが、建設当時は色彩豊かで鮮やかだったという話を聞き、より建設当時の大阪倶楽部を見てみたいと思いました。

レポート・堀江 耕世



異なる模様を持つ梁。部屋ごとに異なる模様のシャンデリアの光によって海外から調達された様々な表情に変わる。

男性限定 会員制倶楽部  
パーティ・結婚式場として利用可能  
(日曜・祝日のみ)

### 大阪ガスビル

未来都市の面影宿す  
白亜のビル・大阪ガスビル

「シンプルなのに追求されたデザイン」これが大阪ガスビルを見学して私が感じた印象でした。  
水平線を強調する庇のぼつりとした厚み、付柱風の半円柱が生み出す軽快なリズム、そして南東角の大きな曲面など、外観からもその印象を覗うことができます。

設計は大阪倶楽部も手掛けた安井武雄。自らの自由様式を追い求めた安井の到着点がこの大阪ガスビルと言われています。  
建物の北半分は後年の増築で、事務所を引き継いだ佐野正一によって設計されました。

建物が完成したのは昭和8年。構造は鉄筋コンクリート造の地上8階・地下2階建て。見学前には頂上完成当初を撮影したビデオからは、現在のオフィスビル街の町並みはなく、住宅の中に新時代を象徴するシンボルかのように大阪ガスビルが建築されていた。白黒ビデオでしたが、白く輝く姿を想像することが出来ます。

建物内見学では屋上の電波塔から地下2階の設備室までガスビルの隅々まで案内して頂きました。

現在でも多くの人に愛される最上階のガスビル食堂は当時のハイカラな雰囲気が漂っていました。休業日であったこの日はゆつくりと店内を見学することができ、クロスが敷かれていないテーブルの傷から歴史の長さを感じました。開業当初はここから大阪城や生駒山を望みながら食事ができたそうですが、現在ではビル群の中に隠れてしまいその姿を見ることはできません。



完成当初のパンフレット。パンフレットからも周囲にまだビル群の姿がないことを知ることが出来る。

2~4階の中層部には巨大な講演場があり、柱を4間分も飛ばした空間は外観からは想像することができません。現在の建築基準では計画するのに難しいこの巨大空間の発想に当時の建築への自由な考え方が伝わります。建物内も外観同様シンプルにまとめられていたが、目的によって使いやすいうデザインが考えられていました。

今回1時間以上にも渡り建物内を見学でき、設計者及び建物を守っていく人の熱い思いが伝わってきました。又、タイムリ1つでも当時の技術力の高さを感じることができ、皆で良いものを造ろうとする意識がそこにはありました。常に利用する人の目線に立ち、そして美意識を持ちながら設計することの大切さを今回の見学で学ぶことができました。

レポート・渡邊 ゆか

### 見学を終えて

現代ビル群の中に今もなお存在感を放つ3件の建物を見学することで、時代を超えて伝わる設計者の思い、その建物を残そうとする人々の努力を感じることができました。

ちょっと一息

### マメ知識の種

登録有形文化財とは？  
原則として築50年が過ぎた建築物や土木構造物が対象であり、文化庁が登録する。登録には国土の歴史的景観に寄与している等の条件があり。

### 中之島界隈見学 アンケート

見学後、所員に今回見学した建物の中で一番印象に残った建物についてアンケートしました。

北浜レトロビル 4票

・オーナーの思い入れが伝わる建物であった。

・大規模のビル群の中でも存在感を感じる建物だった。

・原型を可能な限り生き返らせ、リノベーションに1つのポリシーを持つ行われていた。

大阪倶楽部 3票

・建物のレトロさと社交倶楽部の活動内容が一致していた。

・その時代の様式を感じた。

大阪ガスビル 2票

・当時の多目的ビルの考え方が斬新だった。

・設計者の建物に対するこだわり、いかに多くの人に使われるかを考えられた建物だった。

ちなみに、今回の見学で中之島のイメージは変わりましたか？という質問では3名の方が「はい」と回答しました。  
大阪に数多くのレトロな建物があることを知ったという意見の反面、やはり建物の建替え、高層化が進んでいるといった意見がありました。



像をわ見。子から島。の波橋のく。難波もゆ。守。

### 中之島界隈 クイズ

大阪ガスビル編

Q. ガス灯のホヤにその姿が似ていることから、創業当時から大阪ガスのシンボルフラワーとして使われている花はなんでしょう？

- ゆり
- すずらん
- チューリップ